

[横浜市陶芸センター] 令和 2 年度業務報告及び収支決算

[シンリュウ株式会社]

* 文中の事業欄において、 ●：主催事業 ○：共催事業
* 文中の達成指標、達成状況欄において、 □：定量的指標 ■：定性的指標

1 施設の概要

| | |
|---------|---|
| 施設名 | 横浜市陶芸センター |
| 所在地 | 横浜市中区本牧三之谷 59-3 |
| 構造・規模 | 木造平屋建て及び登り窯 1 棟(別棟) |
| 敷地・延床面積 | 延床面積 396 m ² 、 登り窯延床面積 60 m ² |
| 開館日 | 平成 5 年 8 月 |

2 指定管理者

| | |
|-------|---------------------------------|
| 法人名 | シンリュウ 株式会社 |
| 所在地 | 埼玉県朝霞市上内間木 514-2 |
| 代表者 | 小澤 忠 |
| 設立年月日 | 平成 2 年 4 月 26 日 |
| 指定期間 | 平成 28 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日 |

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

【指定管理中の使命】

横浜市陶芸センターの使命は、横浜市における作陶活動の拠点施設として、広く市民が陶芸に親しむ機会を提供するとともに、市民の作陶技術向上の支援を行うことにより、陶芸の普及を図ることです。加えて、陶芸を通じて、市民文化の振興及び文化芸術が持つ創造性を活かした魅力あるまちづくりに寄与することであり、この使命を達成するため以下五つの方針のもと運営を行いました。

① 陶芸の普及と市民の作陶技術向上を支援する

1 日体験教室、自由作陶教室、第 2 自由作陶教室を開講し、陶芸の普及と市民の作陶技術向上を支援する取組みを進めました。

② 市民の主体的な作陶活動を支援する

還元焼成講座、大物焼成講座を開講し、市民の主体的な作陶活動を支援することができました。

③ 市内の公益的作陶活動を支援する

市内小中学校、高等学校、特別支援学校の作陶活動に関する疑問に対応し、市民の公益的作陶活動の支援に努めました。

④ 陶芸と市民とを結びつける場とする

陶芸と市民を結びつける場として、短時間で気軽に作陶体験が可能な一日体験教室を開催しました。

⑤ 陶芸センターに関する情報提供及び広報・プロモーション

フェイスブックにて施設案内、粘土、焼成、制作方法などを紹介、情報発信に努めました。

【業務取組みの基本的な考え方】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、限りあるスペースを最大限活用するよう工夫をする。コロナ禍での横浜市陶芸センターの新しいあり方を模索しながら、「陶芸文化の発信役」を進める。

① 利用者へのサービスを、もっと向上する

継続して陶芸を楽しんで頂けるように、新規釉薬 7 種類、粘土 3 種類を導入しました。季節に合わせた粘土を提供し、柔軟に取り組むことができました。

② 陶芸知識の基地化を、もっと推進する

陶芸ライブラリーへの新図書追加補充、利用者、来館者を問わず利用できる貸し出し制度を引き続き整備しました。また、電話やホームページからの陶芸に関する質問・相談に対応し、開かれた施設作りを推進しました。

③ 地域にもっと開放する

感染症対策を徹底しながら、見学、来館者には随時対応し、登り窯の説明、施設案内及び陶芸技術知識解説等、興味喚起することが出来ました。

④ 環境をもっと意識する

本牧市民公園の中に位置し、三溪園に隣接した豊かな自然環境での作陶活動を、より多くの人に紹介するために、陶芸センター周辺の映像を SNS にアップし、新規利用者の興味喚起につながるよう努めました。

(2) 令和 2 年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務について】

令和 2 年度の事業運営は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた講座や全国公募・アマチュア陶芸展（陶芸祭）を中止しましたが、開催可能な講座はこれまでの事業運営を活かしながら可能な限りの工夫を積み重ねました。

徹底した感染症対策（換気、消毒作業、検温など）の取り組みが、利用者の安心・信頼に繋がり、休館（緊急事態宣言）により減少した自由作陶教室・貸室の利用者数は秋頃に回復し、年度末まで維持することができました。コロナ禍において多数の利用者から「閉館しないでほしい」という要望を多く頂いたことは、施設（陶芸）が常時利用されている利用者の生活になくてはならない施設として浸透していることを実感しました。

年度始めから様々な計画の変更を実施しましたが、横浜市と連携し、休館・変更に伴う様々な諸問題に迅速に対応し、混乱を回避することができました。また、利用者の理解と協力も得ながら、安定した施設運営を進めることができました。

① 事業について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため各種講座、陶芸祭（全国公募・アマチュア陶芸展）を中止し、空いた教室を自由作陶教室の教室として活用しました。（教室を2ヵ所に分散）
- ・釉薬7種類、粘土3種類を季節に合わせて期間限定で導入しました。利用者のニーズと合致し、新規粘土は総計456kg、300名の利用がありました。また、還元焼成に特化した「萩土」による還元焼成は、昨年度平均の約5.5倍の利用がありました（10月）、萩土（萩焼）の魅力を伝えることができました。利用者の興味を喚起する企画となりました。
- ・新規追加講座として、短時間、少人数、完全予約制の一日体験教室を開催しました。
- ・陶芸情報発信に関しては陶芸知識、窯業機械についての質問・相談など多岐にわたり、市内、県外からの問い合わせに対応しました。

② 運営について

- ・4月、5月に新型コロナウイルス感染拡大防止（緊急事態宣言）による休館（講座中止）がありましたが、年間303日間開館し、利用促進に努めました。
- ・貸室及び自主事業の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止休講の影響により、今年度目標である年間16,483人を達成できませんでしたが、合わせて10,002人の利用がありました。
- ・新規導入粘土については予約限定販売を実施、在庫ロスを実現し、経費削減に努めました。
- ・ソーシャルディスタンス確保のため、作陶台と釉薬掛けスペースのレイアウトを見直し、動線が大幅に改良されました。
- ・限りあるスペースを有効活用し、焼成スケジュール、在庫管理、業務分担（業務の簡略化・業務マニュアルの改訂）、事務部門と指導部門の連絡調整をしながら、効率的な運営を行いました。

③ 管理について

- ・修繕が必要と思われる設備・備品や危険と思われる箇所を日常の見回り点検により洗い出し、高額修繕に備えました。事務所空調機の部品交換修理を実施しました。施設の屋根塗装工事は、横浜市の予算により実施されました。
- ・建物及び登り窯周辺の公園環境を意識し、屋根の松葉清掃等、環境美化に努めました。
- ・汚泥は年2回排出、汚泥量調査を実施、適切な汚泥管理環境維持に努めました。
- ・休館中に窯業機械・施設設備の補修点検を実施し、普段出来ない小破修繕やメンテナンス、釉掛けスペースの拡張など、レイアウト変更による改善に努めました。

④ その他

- ・日報、月報、業務計画書、業務報告書を作成するとともに自己評価を行い、業務改善につとめました。
- ・早め収支の予測を行い、追加講座受講料、新規粘土代の見直しを行いました。
- ・計画仕入れと在庫管理の徹底、固定経費の見直し、自前修繕による経費削減に努めました。
- ・法令の遵守、個人情報保護、情報公開について、適切に対応するとともに横浜市との連絡調整を蜜にし、円滑に業務を遂行しました。

4 業務の取組と達成状況

(1) 事業について

ア 陶芸の普及と市民の作陶技術向上の支援について

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|---|---|--|---|
| <p>① 体験型教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日体験教室（電動ロクロ） ・一日体験教室（手びねり） ・一日体験教室（伝統古典釉薬） ・親子陶芸教室 ・陶芸祭体験教室 | <p>□一日電動ロクロ体験を年間10日間開催する。目標利用者数100人</p> <p>□一日体験手びねり、絵付け体験を年6日間開催する。目標利用者数60人</p> <p>□一日伝統釉薬体験講座を年3回開催する。目標利用者数36人</p> <p>□親子陶芸教室を年間10日間開催する。目標利用者数330人</p> <p>□陶芸祭期間中、手びねり体験、ロクロ体験、楽焼の教室を4日開催する。目標利用者数120人</p> | <p>■一日電動ロクロ体験 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> <p>■一日体験手びねり、絵付け体験 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> <p>■伝統釉薬体験講座 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> <p>■親子陶芸教室 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> <p>■陶芸祭期間中の陶芸体験 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> | <p>●一日体験教室の開催</p> <p>□電動ロクロ0回（0人）</p> <p>□手びねり0回（0人）</p> <p>□伝統釉薬講座</p> <p>□開催回数 0日間</p> <p>□利用者数 0人</p> <p>●親子陶芸教室の開催</p> <p>□開催回数0日間</p> <p>□利用者数0人</p> <p>●陶芸祭期間中の体験</p> <p>□開催回数 0回0日</p> <p>□利用者数 0人</p> |
| <p>②基礎教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手びねり初級 ・手びねり中級 ・電動ロクロ初級 ・電動ロクロ中級 | <p>□手びねり初級教室を年間2回、14日開催する。目標利用者数210人</p> <p>□手びねり中級教室を年間2回、14日開催する。目標利用者数210人</p> <p>□電動ロクロ初級教室を年間2回、14日開催する。目標利用者数168人</p> <p>□電動ロクロ中級教室を年間2回、14日開催する。目標利用者数168人</p> | <p>■手びねり初級教室 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> <p>■手びねり中級教室 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> <p>■電動ロクロ初級教室 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> <p>■電動ロクロ中級教室 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> | <p>●手びねり初級教室開催</p> <p>□開催回数 0回0日</p> <p>□利用者数 0人</p> <p>●手びねり中級教室開催</p> <p>□開催回数 0回0日</p> <p>□利用者数 0人</p> <p>●電動ロクロ初級教室の開催</p> <p>□開催回数 0回0日</p> <p>□利用者数 0人</p> <p>●電動ロクロ中級教室の開催</p> <p>□開催回数 0回0日</p> <p>□利用者数 0人</p> |

| | | | |
|---|--|--|---|
| <p>③自律型教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由作陶教室 ・第2自由作陶教室 <p>④気軽に陶芸を体験してもらう取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統釉薬を使用する一日作陶体験 <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸祭での事前予約なしの体験の提供 ・各種媒体を使用した広報 | <p><input type="checkbox"/>自由作陶教室を年間349日開催。目標利用者数7,450人</p> <p><input type="checkbox"/>第2自由作陶教室を年間48日開催。目標利用者数1,120人</p> <p><input type="checkbox"/>伝統古典釉薬を使用する一日作陶体験を年3回開催（ア①再掲）</p> <p><input type="checkbox"/>陶芸祭期間中、事前予約不要の体験講座を4日開催（ア①再掲）</p> <p>■新聞・タウン情報誌・陶芸関連書籍、フェイスブック、ヨコハマアートナビ、公園内の講座看板に掲示による情報発信</p> | <p>■自由作陶教室を開講、新型コロナウイルス感染症防止による68日間、休講</p> <p>■第2自由作陶教室を開講、新型コロナウイルス感染症防止による9日間、休講</p> <p>■伝統古典釉薬体験講座（ア①再掲）新型コロナウイルス感染症防止のため中止</p> <p>■講座内容変更（短時間の一日陶芸体験実施）</p> <p>■陶芸祭期間中、電動ロクロ、手びねり、楽焼体験中止</p> <p>■新型コロナウイルス感染症防止による講座中止のため、新聞折り込み未実施</p> <p>■公園内看板掲示実施</p> <p>■タウン情報誌掲載実施</p> | <p>●自由作陶教室の開催</p> <p><input type="checkbox"/>開催日数 289日</p> <p><input type="checkbox"/>利用者数 5,421人</p> <p>●第2自由作陶教室開催</p> <p><input type="checkbox"/>開催日数 42日</p> <p><input type="checkbox"/>利用者数 523人</p> <p>●伝統古典釉薬体験講座開催</p> <p><input type="checkbox"/>開催日数 0日間</p> <p><input type="checkbox"/>一日陶芸体験（短時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お試し一日陶芸体験開催日数 8日間（9月） ・秋の一日陶芸体験開催日数 6日間（11月） <p><input type="checkbox"/>陶芸祭期間中、体験講座（ア①再掲）開催日数 0日間</p> <p><input type="checkbox"/>新聞折込0万部（親子陶芸教室・陶芸祭）</p> <p><input type="checkbox"/>公園内の講座看板掲示実施（9月、11月、3月）</p> <p><input type="checkbox"/>タウン情報誌（ぼど）講座案内掲載実施（1月、2月、3月）</p> <p><input type="checkbox"/>ミレアWEB版</p> <p>マグカル・ドット・ネット実施（3月）</p> <p><input type="checkbox"/>ヨコハマアートナビ実施（3月）</p> |
|---|--|--|---|

| | | | |
|---|--|--|--|
| <p>・在留外国人向けの英語のチラシ作成</p> <p>・ハンディキャップのある方が参加しやすい作陶環境改善の検討</p> <p>・映像による紹介</p> <p>⑤次世代育成の取組</p> <p>・解説資料や映像による興味喚起</p> | <p>■一日体験・自由作陶教室・貸室・陶アクセサリ組立コーナー等海外からの来訪者向けに英語版のチラシを掲示</p> <p>■教室内の動線を確保するため、整理整頓を心がける。</p> <p>■映像によるロクロ技法や釉方法、陶芸祭、穴窯焼成などの紹介</p> <p>■焼き物に関する解説資料の配布</p> <p>■一日体験講座の待ち時間において、解説動画映像を上映する</p> | <p>■新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> <p>■講座教室電動ロクロの移動</p> <p>■実施</p> <p>■実施『土鍋』資料を配布</p> <p>■実施</p> | <p>□英語版は更新0回、陶アクセサリ組立体験年0回</p> <p>■講座教室、自由作陶教室、貸室の電動ロクロの配置換え</p> <p>■陶芸センターホームページ動画による放映</p> <p>□土鍋制作参加者51部発布</p> <p>□・お試し一日陶芸体験、秋の一日陶芸体験の待ち時間での放映14日間</p> |
|---|--|--|--|

イ 市民の主体的な作陶活動の支援について

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|--|--|---|--|
| <p>①専門技能習得講座として、多くのテーマの講座を企画・実施</p> <p>・電動ロクロ水挽き徹底教室</p> <p>・絵付け教室</p> <p>・チャレンジ教室</p> | <p>□電動ロクロ水挽き徹底教室を年1回、4日間開催 目標利用者数 52人</p> <p>□絵付け教室を年2回6日間開催。目標利用者数 60人</p> <p>□チャレンジ教室を年3回15日間開催。 目標利用者数 165人</p> | <p>■電動ロクロ水挽き徹底教室 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> <p>■絵付け教室 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> <p>■チャレンジ教室 新型コロナウイルス感染症防止による15日間、休講</p> | <p>●電動ロクロ水挽き徹底教室の開催 □開催回数年0回0日間 □利用者数0人</p> <p>●絵付け教室の開催 □開催回数年0回0日間 □利用者数0人</p> <p>●チャレンジ教室の開催 □年0回0日 □利用者数0人</p> |

| | | | |
|-------------------------|--|--|---|
| <p>・週末2日間陶芸講座</p> | <p><input type="checkbox"/>週末2日間講座を年5回開催 10日間開催。 目標利用者数 120人</p> | <p>■週末2日間講座 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> | <p>●週末2日間講座の開催 <input type="checkbox"/>年0回0日 <input type="checkbox"/>利用者数 0人</p> |
| <p>・週末3日間陶芸講座</p> | <p><input type="checkbox"/>週末3日間講座を年4回開催 12日間開催。 目標利用者数 120人</p> | <p>■週末3日間講座 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> | <p>●週末3日間講座の開催 <input type="checkbox"/>年0回0日 <input type="checkbox"/>利用者数 0人</p> |
| <p>・陶芸入門5日間講座</p> | <p><input type="checkbox"/>陶芸入門5日間講座を年1回開催 5日間開催。 目標利用者数 50人</p> | <p>■陶芸入門5日間講座 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> | <p>●陶芸入門5日間講座の開催 <input type="checkbox"/>年0回0日 <input type="checkbox"/>利用者数 0人</p> |
| <p>・還元焼成講座</p> | <p><input type="checkbox"/>還元焼成講座を随時開催 目標利用者数 750人</p> | <p>■貸室・自由作陶教室利用者を対象に随時開催</p> | <p>●還元焼成講座受講者 <input type="checkbox"/>貸室 244人 <input type="checkbox"/>自由作陶教室 281人</p> |
| <p>・大物焼成講座</p> | <p><input type="checkbox"/>大物焼成講座を毎月開催 目標利用者数 24人</p> | <p>■大物焼成講座を貸室・自由作陶教室利用者を対象に毎月開催。4月5月は新型コロナウイルス感染症防止のため中止</p> | <p>●大物焼成講座 <input type="checkbox"/>年10回 <input type="checkbox"/>利用者数 20人</p> |
| <p>・三溪園共催企画</p> | <p><input type="checkbox"/>三溪園との共催講座を開催。目標利用者数 48人</p> | <p>■新型コロナウイルス感染症防止のため中止</p> | <p>○共催企画の実施0回 <input type="checkbox"/>利用者数 0人</p> |
| <p>・楽焼焼成講座、サヤ鉢焼成講座等</p> | <p><input type="checkbox"/>絵付け焼成、サヤ鉢焼成、楽焼焼成など各種焼成を別途企画講座に於いて開催</p> | <p>■新型コロナウイルス感染症防止のため中止</p> | <p>●楽焼・サヤ鉢焼成講座 <input type="checkbox"/>楽焼利用者 0人 <input type="checkbox"/>サヤ鉢焼成 0人</p> |
| <p>・招待作家講座</p> | <p><input type="checkbox"/>招待作家講座を年1回開催 目標利用者数 20人</p> | <p>■新型コロナウイルス感染症防止のため中止</p> | <p>●招待作家講座 <input type="checkbox"/>年0回0日 <input type="checkbox"/>利用者数 0人</p> |
| <p>・穴窯焼成講座</p> | <p><input type="checkbox"/>穴窯焼成講座を開催 目標利用者数 65人</p> | <p>■新型コロナウイルス感染症防止のため中止</p> | <p>●穴窯焼成講座 <input type="checkbox"/>年0回0日 <input type="checkbox"/>利用者数 0人</p> |
| <p>②作陶活動の成果発表の場の提供</p> | <p><input type="checkbox"/>利用者の作品発表の場として、陶芸祭時に作陶展を4日間開催</p> | <p>■新型コロナウイルス感染症防止のため中止</p> | <p>●利用者発表の場 <input type="checkbox"/>作陶展出品者 0人</p> |
| <p>③新講座・実験的講座の開講</p> | <p>■週末2日間講座を年5回10日開講（イ①再掲）</p> | <p>■新型コロナウイルス感染症防止のため講座内容変更（短時間の一日陶芸体</p> | <p>●一日体験教室（短時間）開催 <input type="checkbox"/>年14回</p> |

| | | | |
|-------------|--|---|---|
| ④チャレンジ講座の開講 | <p>■陶芸入門 5 日間講座 (イ①再掲)</p> <p>■チャレンジ講座を年 3 回 15 日開講 (イ①再掲)</p> | <p>験実施)</p> <p>■新型コロナウイルス感染症防止のため中止</p> <p>■新型コロナウイルス感染症防止のため中止</p> | <p>□利用者数 28 人</p> <p>●陶芸入門 5 日間講座</p> <p>□年 0 回</p> <p>□利用者数 0 人 (再掲)</p> <p>●チャレンジ講座</p> <p>□年 0 回</p> <p>□利用者数 0 人 (再掲)</p> |
|-------------|--|---|---|

ウ 市内の公益的作陶活動に対する支援について

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|--|--|--|--|
| <p>①陶芸指導者対象の研修講座の開催</p> <p>②公益的作陶活動に対する情報提供等や相談対応等、陶芸知識の発信による基地化</p> <p>③団体教室・出張教室の対応など陶芸知識の発信による基地化</p> | <p>①●□小中高校や支援学校の陶芸担当指導者のための研修講座を年 1 回開講する。</p> <p>□目標利用者数 22 人</p> <p>②●■小中高校・特別支援学校に対し研修講座の案内の他、作陶活動に必要な情報や質問に対応し、研修や電話相談等での陶芸知識の発信に努める。</p> <p>③■団体・出張教室での対応の難しいケースは、陶芸センターでの講座受入が可能か判断し、積極的に対応する</p> <p>□団体教室を年 17 件以上実施する。目標利用者数 350 人</p> | <p>①■新型コロナウイルス感染症防止のため中止</p> <p>②■市内、県外在住の方から陶芸素材、成形技法、陶芸窯、電動ロクロ修理等、相談等に対応しました。</p> <p>■新型コロナウイルス感染症防止のため、出張教室は中止しました。</p> <p>■新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> | <p>①●指導者研修講座の開催</p> <p>□開催回数 0 回 0 日</p> <p>□利用者数 0 人</p> <p>②□DM 0 通発送</p> <p>陶芸相談対応件数</p> <p>□電動ロクロ 1 件</p> <p>□灯油窯 2 件</p> <p>□電気窯 5 件</p> <p>□陶芸材料・粘土 3 件</p> <p>□成形技法 2 件</p> <p>□陶芸教室感染症対策 3 件</p> <p>③□出張教室 0 件</p> <p>□団体教室の開催</p> <p>□開催回数 0 回</p> <p>□利用者数 0 人</p> |

エ 陶芸と市民及び来街者を結びつける場づくりについて

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|------------------|--------------------------------------|----------------|--------------------------------------|
| ①施設の象徴としての登り窯の活用 | ①■登り窯を見学用施設として活用し、構造や使用方法の写真などを掲示する。 | ①■登り窯の構造断面図を掲示 | ①■登り窯の構造断面図を掲示し、より多くの来場者が登り窯を見学しました。 |

| | | | |
|--|--|---|--|
| <p>② 近隣地域と連携した取組をおこなうための企画検討</p> <p>③ 陶芸祭で初めて陶芸にふれる来場者のための企画実施</p> <p>④ 施設利用促進のための広報活動・宣伝活動、ホームページや紙媒体の製作の充実</p> <p>⑤ 一般見学者への質問対応や、陶芸ライブラリー、映像等による詳細な情</p> | <p>■ 登り窯を施設の象徴的扱いとし、印刷物、SNS等で施設紹介する際には、登り窯の写真も掲載する。</p> <p>② ■ 陶芸祭を本牧市民公園・三溪園・近隣地域商店会と連携して開催し、ワークショップ等特色ある陶芸祭の企画を検討する。</p> <p>③ ■ 陶芸祭での予約なしで出来る「手びねり・電動ロクロ・下絵付け・楽焼」体験の他、アンケート記入による抽選会、お茶の御点前・陶芸作品のバザーなど興味を喚起する企画を実施する。</p> <p>④ ■ SNSを活用して作陶講座等の情報発信をする。</p> <p>■ すべての講座について募集チラシを作成、館内にて発布する。 □ 陶芸祭チラシを年1回作成し、新聞折込広告等で情報を発信する。</p> <p>■ 市の刊行物、タウン誌、新聞イベント情報、陶芸誌等のメディアへの情報提供、記事掲載を実施する。</p> <p>□ ホームページの年度切り替えの他、新着情報を月1回以上更新し、最新の情報を案内する。</p> <p>⑤ ■ 利用者に支障のないよう一般見学者を受け入れ、陶芸に関する質問に積極的に対応し、映像・陶芸ライブラリーによる情報の発信を行う。</p> | <p>■ 今年度も引き続きホームページ上に登り窯の映像をセンター案内動画で紹介。</p> <p>② ■ 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> <p>③ ■ 新型コロナウイルス感染症防止による中止</p> <p>④ ■ 実施</p> <p>■ 実施 臨時の追加一日体験教室</p> <p>■ 未実施</p> <p>■ 実施</p> <p>■ 実施</p> <p>⑤ ■ 実施</p> | <p>□ 動画再生回数 □ 講座案内 1,510回 □ 陶磁器の出来るまで 3,489回</p> <p>② □ 陶芸祭期間中、陶芸センターへの来場数0日間0人</p> <p>③ ● 陶芸祭関連講座 (ア①再掲) □ 開催回数各講座0回 □ 陶芸体験者 0人 □ お茶会利用者0人 □ 陶芸祭来場者数 0日間0人</p> <p>④ ■ フェイスブックによる陶芸センター、制作技法作等の発信。 ■ 募集チラシの作成と館内掲示。 □ 新型コロナウイルス感染症拡大防止ため中止 ■ 情報誌「ばど」に情報を掲載。</p> <p>□ 新着情報 ホームページの年度切替えと月1回以上の更新 □ ホームページをウェブアクセシビリティ対応(AA)に修正</p> <p>⑤ □ 一般見学 575人 □ 陶芸ライブラリー 貸出利用者数 34名 □ 図書の補充新書 7冊、 図書は、貸出利用だけで</p> |
|--|--|---|--|

| | | | |
|---------------------------------|---|---|---|
| <p>報、電話やホームページを通じての相談等の情報発信</p> | <p>■電話や、お問い合わせフォームで陶芸全般に関する質問に答え対応する。</p> | <p>■市内、県外在住の方から陶芸素材、成形技法、陶芸窯、電動ロクロ修理等、相談等、広範囲の問い合わせに対応しました。</p> | <p>なく、作陶活動の参考にする為、施設内でも閲覧可能。</p> <p>□陶芸についての相談（ウ②再掲）</p> <p>□電動ロクロ 1件</p> <p>□灯油窯 2件</p> <p>□電気窯 5件</p> <p>□陶芸材料・粘土 3件</p> <p>□成形技法 2件</p> <p>□陶芸教室感染症対策 3件</p> |
|---------------------------------|---|---|---|

オ 陶芸センターに関する情報提供及び広報・プロモーション

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|-------------------------|---|-------------------------|--|
| <p>①Webサイトによる施設案内</p> | <p>①■ヨコハマアートナビやwebサイトに講座スケジュールの掲載を依頼するほか、陶芸関係のwebサイトにリンクを貼れるよう積極的に調整する。</p> <p>■ホームページ上のギャラリーを充実させ、全国公募展作品、招待作家講座の画像をアップする。</p> | <p>①■実施</p> <p>■未実施</p> | <p>①□フェイスブックによるフォロワー数 175人</p> <p>□ぱど「WEB版」2件</p> <p>□ヨコハマアートナビ 1件</p> <p>■新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> |
| <p>②陶芸関係サイト等を活用した広報</p> | <p>②■陶芸ネットコムなどの関連サイトのほか、無料の全国規模の習い事サイトなどにも情報を提供する。</p> | <p>②■実施</p> | <p>②■ぱどWEB版</p> <p>■ミレアWEB版</p> <p>■マグカルドット・ネットWEB版</p> <p>■ヨコハマアートナビ</p> |
| <p>③陶芸センターの知名度アップ</p> | <p>③■毎年開催される陶芸祭、隔年開催の『全国公募横浜アマチュア陶芸フェスティバル』を通して近隣地区・全国に向けて知名度を上げる。</p> <p>■メディアの取材・撮影には積極的に対応する。</p> | <p>③■未実施</p> <p>■実施</p> | <p>③■新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>■取材依頼なし</p> |

| | | | |
|-------------------|--|------------------|--|
| ④外国の方向けの情報発信方法の検討 | ④■日本に訪訪させる海外の方のために、1日体験の英語版のチラシをウェブサイトより情報を発信します。 ■作陶経験が多少ある外国人を対象に、英語で受講できる自由作陶教室があることをお知らせする。 | ④■未実施 ■実施 | ④■新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 □自由作陶教室受講者 14人 |
|-------------------|--|------------------|--|

(2) 施設運営について

ア 作陶活動のための施設の提供について

| <p>[取組内容]</p> <p>①適切な施設開館及び施設の貸出</p> <p>②公園条例に基づいた利用料金の徴収</p> <p>③各種講座・新規利用者・貸室の利用率増加のための工夫</p> | <p>[達成指標]</p> <p>①□開館について</p> <table border="1" data-bbox="435 779 762 878"> <tr> <td>開館日数</td> <td>353日</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>9時～17時</td> </tr> </table> <p>□休館日：清掃・空調機点検2日、電気点検1日、年末年始6日、陶芸祭設営/撤去休館3日</p> <p>■開館時間、休館日については、館内掲示やホームページ等で周知を図る。</p> <p>②□利用料金について</p> <table border="1" data-bbox="435 1258 751 1599"> <thead> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>一日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陶芸成形室</td> <td>500円</td> <td>500円</td> <td>1,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>□焼成料(酸化焼成)は、焼成する前の粘土100gまでごとに150円</p> <p>③■新規利用者及び長期利用者が初めて体験する講座からステップアップして次の講座へ興味を持って進めるよう、講座のテーマ、釉薬、使用する土など工夫する。</p> | 開館日数 | 353日 | 開館時間 | 9時～17時 | | 午前 | 午後 | 一日 | 陶芸成形室 | 500円 | 500円 | 1,000円 | <p>[実施内容]</p> <p>①□303日間開館しました。</p> <p>施設点検(定期清掃・空調機点検、電機点検)2日間、年末年始6日間、緊急事態宣言による休館54日</p> <p>■実施</p> <p>②□計画通り実行し、適切な料金設定と徴収を行いました。</p> <p>③□新規釉薬7種類、粘土3種類導入</p> | <p>[達成状況]</p> <p>①□開館日数 303日 □休館日 62日</p> <p>■館内掲示、ホームページ、フェイスブック、電話連絡で周知</p> <p>②□貸室利用料金 午前 午後各500円 一日 1,000円 □酸化焼成料 100gごとに150円</p> <p>③□新規釉薬 (桜花釉、伊羅保釉、青磁釉、白志野釉、青白釉、光沢トルコ釉、レモン釉) □新規粘土 (萩土、土鍋土、透光性陶</p> |
|---|---|------|--------|------|--------|--|----|----|----|-------|------|------|--------|---|--|
| 開館日数 | 353日 | | | | | | | | | | | | | | |
| 開館時間 | 9時～17時 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 午前 | 午後 | 一日 | | | | | | | | | | | | |
| 陶芸成形室 | 500円 | 500円 | 1,000円 | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|--|---|--|---|
| | <p>□貸室での欠席振替を利用期間内（12回）に消化する事により利用率を上げる。</p> <p>□貸室利用可能日数 349日</p> <p>□目標利用者数：5,400人</p> <p>□貸室目標利用料収入（焼成料含む）</p> <p>目標 4,200,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料 2,900,000円 ・焼成料 1,300,000円 | <p>■未実施</p> <p>□緊急事態宣言による 4/8～5/31 まで休館</p> <p>□計画通り実行し、適切な徴収を行いました。</p> | <p>土)</p> <p>■新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、振替中止</p> <p>□利用料状況等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸室 利用日数 289日 利用者数 3,994人 <p>□貸室利用料収入（焼成料含む） 3,504,650円</p> <p>休館の影響により利用料収入減少</p> |
|--|---|--|---|

イ 利用者ニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデアノウハウの一層の活用

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|-------------------------------------|---|------------------------|--|
| <p>①アンケートを活用した利用者サービスと利用促進</p> | <p>①■すべての講座の利用者に対しアンケートを実施し、満足度及び利用者ニーズ等を把握し、今後の運営に反映させる。</p> <p>■自主事業講座アンケート集計</p> | <p>①■実施</p> <p>■実施</p> | <p>■体験講座、自由作陶教室、貸室にて実施</p> <p>□自由作陶教室アンケート調査実施</p> <p>(回収数 179通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室内容満足度 81% 普通 18% 不満 1% ・建物設備満足度 72% 普通 24% 不満 3% 未回答 1% ・スタッフ満足度 90% 普通 8% 不満 1% 未回答 1% |
| <p>②利用者への配慮をしながら可能な限りの施設見学の受け入れ</p> | <p>②■利用者に支障のない範囲で「一般見学者の団体」も受け入れる。</p> | <p>②■実施</p> | <p>②□団体見学 1団体</p> |

| | | | |
|---------------------------|--|--|--|
| <p>③施設スペースの有効利用方法等の検討</p> | <p>③■講座教室内の整理整頓と陶芸材料の計画仕入れ</p> <p>■ロッカールームスペースの活用を検討</p> <p>■不良在庫等の廃棄による収納スペースの確保。</p> <p>■防災用品保管スペース拡張の検討</p> | <p>③■実施</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p> | <p>③■新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため利用者間のスペース確保、電動クロロ配置換えを実施。講座教室の動線確保</p> <p>■防災グッズ収納場所設置</p> <p>■粘土の予約販売による在庫ロス、スペースの確保</p> <p>■粘土保管庫の整理整頓によるスペースの拡張</p> |
|---------------------------|--|--|--|

ウ 組織的な施設運営について

| <p>[取組内容]</p> <p>①適切な運営組織体制と人材の配置（毎日2名以上の勤務体制）</p> | <p>[達成指標]</p> <p>①■人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="395 1115 767 2024"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター長</td> <td>1人</td> <td>全体総括</td> </tr> <tr> <td>所長</td> <td>1人</td> <td>事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務</td> </tr> <tr> <td>副所長</td> <td>1人</td> <td>講師・事務総括</td> </tr> <tr> <td>事務員</td> <td>4人</td> <td>ローテーション勤務</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>10人</td> <td>ローテーション勤務</td> </tr> <tr> <td>貸室アドバイザー、助手</td> <td>6人</td> <td>一部講師、助手兼務、</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 人数 | 備考 | センター長 | 1人 | 全体総括 | 所長 | 1人 | 事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務 | 副所長 | 1人 | 講師・事務総括 | 事務員 | 4人 | ローテーション勤務 | 講師 | 10人 | ローテーション勤務 | 貸室アドバイザー、助手 | 6人 | 一部講師、助手兼務、 | <p>[実施内容]</p> <p>①■実施</p> | <p>[達成状況]</p> <p>①■事業に支障なく、施設運営を行いました。</p> |
|--|--|------------------------------|----|----|-------|----|------|----|----|------------------------------|-----|----|---------|-----|----|-----------|----|-----|-----------|-------------|----|------------|---------------------------|--|
| 項目 | 人数 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| センター長 | 1人 | 全体総括 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所長 | 1人 | 事業・運営・管理業務責任者 個人情報管理責任者兼務 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 副所長 | 1人 | 講師・事務総括 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務員 | 4人 | ローテーション勤務 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講師 | 10人 | ローテーション勤務 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 貸室アドバイザー、助手 | 6人 | 一部講師、助手兼務、 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------------|---|---|-----------|------------------------|---|
| <p>②適切かつ効果的な勤務体制の確立</p> | <table border="1" data-bbox="392 152 767 297"> <tr> <td data-bbox="392 152 552 297">手</td> <td data-bbox="552 152 767 297">ローテーション勤務</td> </tr> </table> <p>②■勤務体制について センター長は月3日、所長は週4～5日、副所長は週5日出勤。各講座指導部門では、講師、貸室アドバイザー、助手をローテーション勤務とし、講座運営に支障のないようにする。事務部門では、毎日2人以上のローテーション勤務体制とする。 ■職務分担表の作成、徹底により、効率的な業務遂行を行う。</p> | 手 | ローテーション勤務 | <p>②■実施</p> <p>■実施</p> | <p>②■職務分担に沿って、適切な職務遂行を達成しました。</p> <p>■受付業務簡略化、業務マニュアル修正、効率化を進めました。一週間ごとの焼成スケジュール、一ヶ月ごとの勤務スケジュールを作成しました。</p> |
| 手 | ローテーション勤務 | | | | |

エ 個人情報保護等、本市の重要政策を踏まえた取組

| | | | |
|---|---|---|--|
| <p>[取組内容]</p> <p>①個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組の実施</p> | <p>[達成指標]</p> <p>①■法令、条例及び規則を遵守し、利用者の個人情報の取り扱いを適正に行い、事故のないように努める。 ■マイナンバーの個人情報漏えい防止の為、組織的・人的・物理的・技術的安全管理処置を講じる ■横浜市の障害者差別解消法の指針に従い差別解消を推進する。 ■情報公開規程にのっとり、情報開示請求等に対し、適切に対応する。 <input type="checkbox"/>人権の尊重について、職員に対し人権に関する研修を年1回</p> | <p>[実施内容]</p> <p>①■計画通り、法令の遵守と個人情報保護への取り組みを行いました。 ■マイナンバーを本社総務部での一括管理により、安全管理処置を講じました。 ■障害者差別解消法の研修を実施しました。 ■情報開示請求等はありませんでした。 <input type="checkbox"/>人権研修を実施しました。</p> | <p>[達成状況]</p> <p>① ■実施 個人情報保管、漏洩防止、施錠管理、研修 パスワードでの情報管理 ■実施 マイナンバーマニュアルの研修 本社での施錠管理 <input type="checkbox"/>年1回実施 <input type="checkbox"/>対応案件 0件 <input type="checkbox"/>年1回実施 1月14日～1月24日</p> |
|---|---|---|--|

| | | | |
|--|--|--|-----------------------|
| | <p>実施する。</p> <p>■管理・運営上の近隣への迷惑行為には充分留意し、対策を講じる。</p> <p>■横浜市中小企業振興基本条例を批准し、物品及び修繕などの優先発注に努める。</p> | <p>■近隣への配慮を行い、適宜、本牧市民公園との連絡調整を行いました。</p> <p>■可能な物品、修繕案件については、優先発注に努めました。</p> | <p>■実施</p> <p>■実施</p> |
|--|--|--|-----------------------|

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理、公園管理

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|----------------------------|---|---|--|
| ①施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応の実施 | <p>①<input type="checkbox"/>毎日の清掃業務と年2回の定期清掃を行う。</p> <p>■管理標準チェックリストによる記録と快適環境維持</p> <p>■施設設備の日常点検と、早めの自前小破修繕による高額修繕費支出の回避。</p> | <p>①<input type="checkbox"/>実施</p> <p>■実施</p> <p>■施設設備等の異常箇所等の毎日の見回り点検。</p> | <p>①<input type="checkbox"/>休館日を除く毎日清掃と年2回の定期清掃の実施</p> <p><input type="checkbox"/>毎日の管理標準チェックリストの記録</p> <p><input type="checkbox"/>土練機修理2件</p> <p><input type="checkbox"/>電動ロクロの修理1件</p> <p><input type="checkbox"/>電気窯 修理 2件</p> <p><input type="checkbox"/>電気回線 修理 2件</p> <p><input type="checkbox"/>換気扇修理 5件</p> <p><input type="checkbox"/>作陶台、他修理 4件</p> <p><input type="checkbox"/>釉掛床シーラ塗装1件</p> <p><input type="checkbox"/>屋根塗装工事(横浜市予算による) 1件</p> |
| ②保守点検、備品管理、環境維持の実施 | <p>②<input type="checkbox"/>空調機器定期点検を年2回行う。</p> <p>■給排水設備点検を随時行う。</p> <p><input type="checkbox"/>電気設備点検を毎月行う。</p> <p><input type="checkbox"/>ガス設備点検を毎月行う。</p> <p><input type="checkbox"/>消防設備点検を年2回行う。</p> <p><input type="checkbox"/>窯業機器・機械の機能点検を毎月、保守点検を年1回行う。</p> | <p>②<input checked="" type="checkbox"/>実施</p> <p>■水道栓ノブの交換と排水枡・排水溝の泥の排出</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p> <p>■非常警報設備と消火設備、非難経路表示表の点検</p> <p>■実施</p> | <p>②<input type="checkbox"/>空調機定期点検年2回</p> <p><input type="checkbox"/>事務所空調機部品交換修理1回</p> <p><input type="checkbox"/>排水枡からの泥の排出 年2回</p> <p><input type="checkbox"/>毎月実施</p> <p><input type="checkbox"/>毎月実施</p> <p><input type="checkbox"/>非常警報設備の点検年2回</p> <p><input type="checkbox"/>毎月の陶芸窯機能点検と年1回の定期保守点検の実施</p> |

| | | | |
|-----------------------------------|---|--|--|
| <p>③公園の管理区域内の環境維持、公園管理者との連絡調整</p> | <p>■粘土や釉薬を直接下水に流さず、下洗い箱を設け一度沈殿させたうえ、上水だけを流すよう毎日の作業として徹底する。</p> <p>□排水溝、柵の掃除を年2回実施し、汚泥量を記録するとともに、適切に汚泥処理をする。</p> <p>③■建物周辺的美観維持の為、草刈、屋根の松葉清掃等、適時手入れをする。</p> <p>■本牧市民公園と電気点検・工事・修繕他による車両の出入りの連絡調整をする。</p> | <p>■実施</p> <p>■実施</p> <p>③■実施</p> <p>■ゴミ・古紙・産廃のルート回収・自動販売機飲料の入替・電気・空調機点検・定期清掃車両等の公園内通行許可証の発行</p> | <p>□毎日の実施</p> <p>□年2回の排水溝・排水柵の清掃と処理</p> <p>③□外登り窯敷地内草取り年10回実施、屋根松葉掃除年5回実施</p> <p>■実施</p> |
|-----------------------------------|---|--|--|

イ 小破修繕の着実な実行について

| | | | |
|-------------------------------|--|--|--|
| <p>[取組内容]</p> <p>①小破修繕の取組</p> | <p>[達成指標]</p> <p>①■毎日見回り点検により、早めの直営修繕を行い、高額修繕に至らない様、適切な維持管理を行う。</p> <p>■修繕用交換部品をメーカーから直接購入し、自前修繕による工賃・修理費のコスト削減を図る</p> | <p>[実施内容]</p> <p>①■実施</p> <p>■窯業機械修理</p> <p>■陶芸道具修理</p> <p>■蛍光管交換</p> <p>■水道交換部品</p> | <p>[達成状況]</p> <p>①■直営修繕</p> <p>□部品取寄せ修繕年間21件</p> |
|-------------------------------|--|--|--|

ウ 事故予防及び緊急時の対応

| | | | |
|--|--|---|---|
| <p>[取組内容]</p> <p>①事故防止体制・防犯・緊急時の対応・感染症対策等衛生管理の実施</p> | <p>[達成指標]</p> <p>①□事故発生に備え緊急連絡網を整備し、横浜市へ現場対応・状況を報告する。AEDの操作研修を年2回行う。</p> <p>■陶芸センターの警備業務一覧（巡回警備・非常事態発生時の処置等）をスタッフ全員での共通業務として認識し行動す</p> | <p>[実施内容]</p> <p>①■緊急連絡網の整備</p> <p>□AED研修年2回</p> <p>■実施</p> | <p>[達成状況]</p> <p>①□防災訓練時にAED研修を実施（7月、3月）</p> <p>■実施</p> |
|--|--|---|---|

| | | | |
|--|--|--|--|
| | <p>る。</p> <p>■日常の見回り点検や、スタッフ、利用者からの危険箇所の指摘を事故防止体制に活かす。</p> <p>■感染症対策として、液体消毒石鹸とアルコール設置による除菌対策をし、ノロウイルス対策として嘔吐物処理行程をマニュアル化し、スタッフ全員で共有する。</p> <p>■デング熱・ジカ熱の蚊対策として水溜りを除去するほか、野鳥の死骸発見時には保健所と横浜市への通報・連絡を徹底する。</p> <p>■施設の保安警備業務は警備会社に委託し、24時間警備を行う。</p> | <p>■実施</p> <p>■実施 感染症拡大防止のため、陶芸道具類、施設内消毒ガイドライン作成</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p> | <p>■実施</p> <p>■消毒ガイドライン作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒作業1日2回 ・飛沫防止アクリル板設置 ・非接触型赤外線温度計設置 <p>■実施</p> <p>■委託警備業者による24時間機械警備の実施</p> |
|--|--|--|--|

エ 防災に対する取組

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|--|--|---|---|
| <p>①日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施</p> | <p>①■災害対策マニュアルを整備し、災害時には横浜市との迅速な現状報告体制を整える。</p> <p>□スタッフ、利用者も含めた防災避難訓練を年2回実施する。</p> <p>■陶芸窯の焼成について、スタッフの安全教育、防火管理を徹底する。</p> <p>□災害備蓄品の消費期限を確認し年2回飲料水、食品、防災用品等の更新を行う。</p> | <p>①計画通り、防災等への適切な対応ができました。非難訓練では、利用者の方にも協力してもらい、利用者、スタッフ全員参加で行い、AEDの取り扱い説明会も行いました。</p> <p>■陶芸窯のマニュアルと窯周辺の可燃物に対する注意の喚起。</p> <p>□実施</p> | <p>①■防災マニュアル、緊急連絡網の確認、徹底</p> <p>□非難訓練を年2回実施(7月、3月)</p> <p>■陶芸窯焼成の安全マニュアル教育、防火管理の徹底、1年間無事故達成</p> <p>□防災用品の追加 年3回 (7月、11月、3月)</p> |

オ その他管理に関する事項

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|-----------------|-------------------------|---------------------|------------------|
| <p>①廃棄物の抑制と</p> | <p>①■使用済み粘土、削りかす粘土、</p> | <p>①■新型コロナウイルス感</p> | <p>①■各自管理を徹底</p> |

| | | | |
|-------|---|---------------------------------|---------------------------------|
| 適正な処理 | <p>使用済釉薬は、出来るだけ再利用するため分別回収箱を設けるなど、毎日適切に管理する。</p> <p>■廃棄物を最小限に抑える努力し、再生できないものは、ルート回収にて適正に廃棄する。</p> | <p>染症拡大防止対策のため中止</p> <p>■実施</p> | <p>■産業廃棄物の毎月管理ルート回収による適正な廃棄</p> |
|-------|---|---------------------------------|---------------------------------|

(4) 収支について

ア適切な収支構造及び収支バランス

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|------------------|---|---|--|
| ①適切な収支構造及び収支バランス | <p>①■収益の改善と固定経費の改善努力</p> <p>■陶芸材料の在庫管理と計画仕入れの努力</p> <p>■突然の高額修繕に備えた、日常点検による劣化箇所の把握</p> <p>■利用増加が見込まれる新規講座の企画</p> <p>■四半期表による収支の予測</p> | <p>①■実施</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p> <p>■期間限定粘土・釉薬の導入</p> <p>■期間限定粘土代、受講料(一日体験)の見直し</p> <p>■実施</p> | <p>①■収益改善の追加講座(お試し一日体験、秋の一日陶芸体験、釉薬掛け体験追加講座</p> <p>■固定経費削減</p> <p>■毎月の計画仕入と在庫管理の徹底</p> <p>■実施</p> <p><input type="checkbox"/>期間限定粘土利用者数・300名</p> <p><input type="checkbox"/>釉薬掛け追加講座(7月、8月)</p> <p><input type="checkbox"/>お試し一日体験(9月)</p> <p><input type="checkbox"/>秋の一日陶芸体験(11月)</p> <p><input type="checkbox"/>年4回</p> <p>・一日体験受講料見直し</p> <p>・新規粘土費改定</p> |

イ 指定管理料のみに依存しない収支構造の検討について

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|-----------------------|---|--|------------------------------------|
| ①指定管理料のみに依存しない収入確保の取組 | <p>①■自主事業の受講者を効率的に獲得し受講率を高めることにより、事業収入の増収を図る。</p> | <p>①■アンケート調査や意見・要望から講座や、材料その他の設備の改良を行いました。</p> | <p>①■新釉薬・粘土の導入</p> <p>■アンケート調査</p> |

| | | | |
|--|---|--------------------------------|--|
| | <p>■新規講座を企画検討し、利用料増収を図る。</p> <p>■陶芸センター独自グッズの開発、販売に向けて、実現の可能性を探る。</p> | <p>■実施（再掲（4）ア）</p> <p>■検討中</p> | <p>■収入の見込める粘土・釉薬期間限定販売</p> <p>■追加一日体験</p> <p>■試作制作実施</p> |
|--|---|--------------------------------|--|

ウ 経費削減及び効率的運営努力について

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|-----------------------|---|---|---|
| <p>①経費削減等効果的運営の取組</p> | <p>①■消耗品、事務用品の節約による事務経費の削減に努める。利用者からの寄贈による古新聞・古布等を再利用する。</p> <p>■不用になった陶芸関連書籍の寄贈を積極的に受け入れる</p> <p>■陶芸材料の輸送コスト削減の為、販売元から直接購入し、輸送コストの削減を図る。</p> <p>■液化燃料（灯油）は直接購入し経費削減を図る。</p> <p>■教室運営にかかわる備品修理や窯業機械の修繕について、出来る範囲のものは職員の自前作業により、経費抑制を図る。</p> <p>■窯業機械の毎月の機能点検による高額修繕に備える</p> | <p>①■固定経費、自前修繕による、計画的な経費削減に努めました。</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p> <p>■液化燃料を配達から直接買い入れることによる経費の削減。</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p> | <p>①□事業費実績 10,196 千円（対予算比 63%）</p> <p>□事務費実績 5,512 千円（対予算比 89%）</p> <p>■陶芸材料とメンテナンス用部品を直接仕入れ経費を削減しました。</p> <p>□年間 96,000 円の削減</p> <p>■職員の自前修繕により経費抑制を図りました。</p> <p>■職員の毎月の機能点検、自前修繕により経費抑制を図りました。</p> |

(5) PDCAサイクルの確実な運用

ア 日報及び月間事業報告書の作成・管理について

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|--------------------------|---|---|--|
| <p>①日報、月間事業報告書の作成と管理</p> | <p>①■日報、月報を作成・管理する。</p> <p>■日常業務の中でPDCAサイクル</p> | <p>①■計画通り、日報、月報の作成と管理を行い、PDCAサイクルの推進により素早い対</p> | <p>①■日報、月報の作成官理</p> <p>■センター利用者のアンケートの集計による対応。</p> |

| | | | |
|--|--|-------------|--|
| | イクルを推進することにより、短いサイクルでの早い対応ができるよう、努力する。 | 応をこころがけました。 | |
|--|--|-------------|--|

イ 業務計画及び業務報告書の作成・管理について

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|--------------------|---|----------------------------------|---------------------|
| ①業務計画書、業務報告書の作成と管理 | ①■業務計画書及び業務報告書について、定められた様式に沿って作成、管理を行う。 | ①■計画通り、業務計画書、業務報告書、の作成と管理を行いました。 | ①■業務計画書、業務報告書の作成と管理 |

ウー１ 業務評価（モニタリングの実施）について

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|-------------------|--|--------------------------------|-------------------------------------|
| ①モニタリングの実施による業務評価 | ①■モニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について報告する | ①■計画通り、モニタリングの実施による業務評価を行いました。 | ①■利用状況、施設管理状況問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況を報告 |

ウー２ 業務評価（自己評価の実施）について

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|-----------------|--|------------------------------|--------------------------------|
| ①自己評価の実施による業務評価 | ①■業務実績及び利用者の満足度や意見を基に、自己評価を行い、以降の業務改善につながるよう努める。 | ①■計画通り、自己評価の実施による業務評価を行いました。 | ①■業務実績及び利用者の満足度や意見を基に、自己評価を実施。 |

ウー３ 業務評価（第三者による評価の実施）について

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|------------------|--|---------------------|--------|
| ①第三者評価の実施による業務評価 | ①■業務評価にあたり、外部評価委員会による第三者評価が実施される場合は、横浜市の指示に従い対処する。 | ①■令和２年度は実施されませんでした。 | |

(6) その他について

ア 保険及び損害賠償の取り扱いについて

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|-----------------|---|--------------------------------|-----------------------------------|
| ①保険の加入と損害賠償への対応 | ①■賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス費用保険に加入し、契約書および保険証書の写しを市に提出する。 | ①■計画通り、保険の加入により損害賠償への備えを整えました。 | ①■賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス費用保険に加入。 |

イ 関係法令の遵守

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|-------------------|--|--------------------------------|--------------------------------|
| ①法令の遵守と個人情報保護への取組 | ①■法令、条例及び規則を遵守し、利用者の個人情報の取扱を適正に行い、事故のないように努める。 | ①■計画通り、法令の遵守と個人情報保護への取組を行いました。 | ①■法令、条例及び規則の遵守、利用者の個人情報の適正な取扱。 |
| ②マイナンバー制度への取組 | ②■マイナンバーの個人情報漏えい防止の為、組織的・人的・物理的・技術的安全管理処置を講じる。 | ②■本社総務課で一括管理 | ②■本社でのパスワードによる管理 |

ウ 市及び関係機関等との連絡調整

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|----------------|---|-----------------------------|---|
| ①市及び関係機関との連絡調整 | ①■月次モニタリングにて業務の報告、確認を行うが、重要な案件、緊急な案件については、随時市に報告・協議し、円滑な業務遂行を目指す。 | ①■計画通り、市及び関係機関との連絡調整を行いました。 | ①■月次モニタリングでの業務の報告、確認の他、随時市に報告、協議し、円滑な業務遂行 |

エ その他

| [取組内容] | [達成指標] | [実施内容] | [達成状況] |
|--------------|--|------------------------|--|
| ①情報公開への積極的取組 | ①■情報公開規程にのっとり、情報開示請求等に対し、適切に対応する。 ■施設運営情報等をホームページで公開していく。 | ①■実施 ■横浜市サイトで実施 | ①□開示請求は0件 ■業務計画書・報告書は横浜市のサイトで公開 |

令和2年度 「横浜市陶芸センター」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|-----------------------|-------------------|----------------|-------------------|-------------------|------------------|---|
| 指定管理料 | 19,061,000 | | 19,061,000 | 19,061,000 | 0 | 横浜市より |
| 利用料金収入 | 4,200,000 | | 4,200,000 | 3,504,650 | 695,350 | 貸室利用料・貸室焼成費 |
| 自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入 | | | 0 | | 0 | |
| 自主事業収入 | 18,750,000 | 250,000 | 19,000,000 | 12,214,891 | 6,785,109 | 自主事業講座料・自主事業焼成費、教室・貸室粘土代 |
| 横浜市による運営支援（休館期間等） | | | | 1,499,000 | 1,499,000 | 休館期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援 |
| 横浜市による運営支援（利用再開後の期間等） | | | | 0 | 0 | 利用再開後の期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援 |
| 雑入 | 650,000 | 374,000 | 1,024,000 | 687,477 | 336,523 | |
| 印刷代 | 6,000 | △ 2,000 | 4,000 | 3,370 | 630 | コピー代金 |
| 自動販売機手数料 | 147,000 | △ 27,000 | 120,000 | 114,282 | 5,718 | 自動販売機手数料 |
| 駐車場利用料収入 | | | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 497,000 | 403,000 | 900,000 | 569,825 | 330,175 | 受取利息・陶芸材料売上・古紙リート回収収入 |
| 収入合計 | 42,661,000 | 624,000 | 43,285,000 | 36,967,018 | 9,317,982 | |

支出の部

6,317,982

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|--------------------------|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|------------------|--|
| 人件費 | 11,820,000 | 3,743,000 | 15,563,000 | 13,996,698 | 1,566,302 | |
| 給与・賃金 | 10,170,000 | 3,543,000 | 13,713,000 | 12,263,373 | 1,449,627 | |
| 社会保険料 | 930,000 | 300,000 | 1,230,000 | 1,279,060 | △ 49,060 | |
| 通勤手当 | 700,000 | △ 280,000 | 420,000 | 397,944 | 22,056 | |
| 健康診断費・福利厚生 | 20,000 | 180,000 | 200,000 | 56,321 | 143,679 | |
| 勤労者福祉共済掛金 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 退職給付引当金繰入額 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 事務費 | 3,614,640 | 205,360 | 3,820,000 | 3,771,837 | 48,163 | |
| 旅費 | 30,000 | △ 10,000 | 20,000 | 1,440 | 18,560 | 駐車料金 |
| 消耗品費 | 200,000 | | 200,000 | 674,975 | △ 474,975 | ガムテープ・ラミネートフィルム・ホリ袋・レジロール・鉛筆・ファクス用紙他・ファイルケース |
| 会議購入費 | 50,000 | 150,000 | 200,000 | 1,950 | 198,050 | 全体会議購費他 |
| 印刷製本費 | 861,000 | 19,000 | 880,000 | 1,548,800 | △ 668,800 | 広告宣伝費、ホームページ管理・サーバ使用料・アクセスIBILITY |
| 通信費 | 500,000 | △ 90,000 | 410,000 | 300,347 | 109,653 | 電話料金・メール便・郵便料金・切手・ハガキ代金・DM送料 |
| 使用料及び賃借料 | 500,000 | 270,000 | 770,000 | 425,175 | 344,825 | |
| 横浜市への支払分 | 100,000 | 70,000 | 170,000 | 209,175 | △ 39,175 | ゴミゼロリート回収費・目的外使用料（自動販売機・小道具ジョークス） |
| その他 | 400,000 | 200,000 | 600,000 | 216,000 | 384,000 | 駐車場契約料 |
| 備品購入費 | 500,000 | | 500,000 | 316,957 | 183,043 | パソコン部品・換気扇、防災用品 |
| 図書購入費 | 70,000 | △ 20,000 | 50,000 | 0 | 50,000 | 陶芸ライブラリー用陶芸図書購入費 |
| 施設賠償責任保険 | 13,640 | 46,360 | 60,000 | 116,688 | △ 56,688 | 施設管理者賠償責任保険・動産総合保険・レジャーサービス費用保健 |
| 職員等研修費 | 20,000 | | 20,000 | 0 | 20,000 | 各種法令テキスト代・陶芸教材用テキスト代 |
| 振込手数料 | 50,000 | 30,000 | 80,000 | 44,880 | 35,120 | 銀行支払い・振り込み手数料 |
| リース料 | 600,000 | △ 240,000 | 360,000 | 287,726 | 72,274 | 電動ロクロ、小型電機窯・コピー機リース料 |
| 手数料 | 220,000 | 50,000 | 270,000 | 52,899 | 217,101 | 会計ソフトサポート料・ネットバンキング |
| 地域協力費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 必要に応じて支出 |
| 事業費 | 18,750,000 | △ 2,650,000 | 16,100,000 | 10,196,589 | 5,903,411 | |
| 自主事業（指定管理料充当の自主事業）費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 自主事業費 | 18,750,000 | △ 2,650,000 | 16,100,000 | 10,196,589 | 5,903,411 | 陶芸材料仕入れ、業務委託契約料 |
| 管理費 | 5,051,110 | 356,840 | 5,407,950 | 4,585,109 | 822,841 | |
| 光熱水費 | 1,980,000 | △ 190,000 | 1,790,000 | 1,645,289 | 144,711 | |
| 電気料金 | 1,100,000 | 30,000 | 1,130,000 | 1,129,747 | 253 | 三相・200V、単相・100V電気料金 |
| ガス料金・灯油料金 | 380,000 | △ 130,000 | 250,000 | 189,304 | 60,696 | プロパンガス・灯油窯用灯油代金 |
| 水道料金 | 500,000 | △ 90,000 | 410,000 | 326,238 | 83,762 | 上下水道料金 |
| 清掃費 | 2,150,000 | △ 50,000 | 2,100,000 | 1,862,740 | 237,260 | 日常清掃（毎日）・定期清掃（年2回） |
| 修繕費 | 200,000 | 300,000 | 500,000 | 52,513 | 447,487 | LED取り付け・水道トイレ関連部品・電動ロクロ部品代・電気配線部品他 |
| 機械警備費 | 390,000 | 40,000 | 430,000 | 393,360 | 36,640 | 開館時以外常時機械警備（365日） |
| 設備保全費 | 331,110 | 256,840 | 587,950 | 631,207 | △ 43,257 | |
| 空調衛生設備保守 | 210,000 | | 210,000 | 488,400 | △ 278,400 | 定期保守点検（年2回）・室内送風機洗浄他 |
| 消防設備保守 | 10,000 | 77,000 | 87,000 | 88,000 | △ 1,000 | 消防設備点検（年2回） |
| 電気設備保守 | 102,600 | 167,400 | 270,000 | 26,070 | 243,930 | 電気炉他保守点検（年1回）電気設備取付・保守 |
| 害虫駆除清掃保守 | 2,000 | 8,000 | 10,000 | 19,915 | △ 9,915 | 蚊用殺虫剤・蚊取り線香 |
| 駐車場設備保全費 | 0 | | 0 | | 0 | |
| その他保全費 | 6,510 | 4,440 | 10,950 | 8,822 | 2,128 | 松葉清掃及び排水汚泥取納廃棄用袋 |
| 共益費 | 0 | | 0 | | 0 | 必要に応じて支出 |
| 公租公課 | 2,500,250 | △ 1,000,200 | 1,500,050 | 1,622,609 | △ 122,559 | |
| 事業所税 | 0 | | 0 | | 0 | 事業所床面積と従業員数が標準に満たないため |
| 消費税 | 2,500,000 | △ 1,000,000 | 1,500,000 | 1,622,600 | △ 122,600 | 実績に基づく試算 |
| 印紙税 | 0 | | 0 | | 0 | 実績に基づく試算 |
| その他（ ） | 250 | △ 200 | 50 | 9 | 41 | 受取利息からの納税分（国税） |
| 事務経費（計算根拠を説明欄に記載） | 500,000 | 394,000 | 894,000 | 118,511 | 775,489 | |
| 本部分 | 90,000 | 270,000 | 360,000 | | 360,000 | 本社労務管理費等 |
| 当該施設分 | 410,000 | 124,000 | 534,000 | 118,511 | 415,489 | 事務用品費他 |
| 二一三対応費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 支出合計 | 42,236,000 | 1,049,000 | 43,285,000 | 34,291,353 | 8,993,647 | |
| 差引 | 425,000 | △ 425,000 | 0 | 2,675,665 | 322,335 | |

| | | | | | | |
|----------------|---|--|--|------------|--|-------------------------|
| 自主事業費収入 | | | | 12,214,891 | | |
| 自主事業費支出 | | | | 10,196,589 | | |
| 自主事業収支 | 0 | | | 2,018,302 | | |
| 管理許可・目的外使用許可収入 | | | | 684,107 | | 陶芸用小道具売上・自動販売機売上手数料 |
| 管理許可・目的外使用許可支出 | | | | 209,175 | | 陶芸材料支払い分・賃借料・ゴミゼロリート回収費 |
| 管理許可・目的外使用許可収支 | | | | 474,932 | | |